

ついでに村再開について、信号機の設置について、医療センターについて



河崎 徳 雄

だが、客観的な結論が出るよう市も契約違反を提訴したかどうか。

まちづくり課長 本年2月の全員協議会、経済常任委員会を経て、営業再開の意思確認と契約書第21条による協議申入れ書に対して、先方からも代理人を立て協議申入れ書が来ており、協議中です。

河崎 新年度になり担当も変わるので、もう一度阿蘇中学校前の信号機、歩道、警戒標識の請願を行ってはどうか。

日田教育課長 警察には請願し、平成28年度中の設置見込みです。標識等は検討いたします。

阿部建設課長 歩道の整備については県が計画しており、平成28年度からの着手予定と聞いております。

河崎 経営見込みの甘さが市の繰出金・貸付金となっている。平成25年度5・5億円、平成26年度7・7億円、平成27年度5億円強で計18億円という計算でいいか。

井野医療センター事務局長 平成25年度決算では、繰入金2・7億借入金0・3億の計約3億円、平成26年度決算では、繰入金4・3億借入金3億の計約7・3億円、平成27年度見込みでは、繰入金約5億円となりま

す。一般医療においては独立採算の原則に基づき目標を定め、又、常勤医師の確保を図り経営改善に努めます。

阿蘇市の地方創生、空き家対策について



五 嶋 義 行

五嶋 未来に繋がる阿蘇市づくり、どこよりも魅力あるまちづくりとなる為に、今日の人口減少化社会に対応する一つの方法として、阿蘇市空き家バンク制度の運用を開始したが、その内容をお尋ねしたい。

佐伯まちづくり課長 本制度は空き家の所有者、空き家を借りたい人、又、購入したい方々、双方の合意に基づいて登録し、移住定住の促進と地域の活性化をより一層図るものです。今後は、これらに関する相談窓口の拡充や空き家情報の提供に向け、宅建協会、不動産協会等の関係団体と協議を深め、制度の運営を進めて参ります。

五嶋 田園回帰、過疎先進の島根県の取り組みで「地産地消を進め、循環型社会を構築し、年に1%の人と仕事を戻してあげれば、地域は安定的に持続する」とあるが課長の見解をお聞きたい。

まちづくり課長 そういった優良

事例もあります。阿蘇市としては空き家バンク制度を活用し、市内への移住定住者の増加、又、市内からの人口流出の減少に向けた取り組みを進めます。

五嶋 物理学者のアインシュタイン曰く、「問題を創り出した時と同じ思考では、その問題を解決できない。」今まで経験したことのない人口減少化社会に向けて、これまでの価値観、文明感、方法論を変えた新たな取り組みをしないとイケないと思うが、課長の考えは。

まちづくり課長 今後、詳しい内容の勉強会を実施していきたい。

五嶋 「地域内乗数効果」で地産地消を進めていけば約5倍の経済効果があると思われるが。

まちづくり課長 昨年実施した2割お買得券が地域内消費喚起に繋がったものと考えております。



市内に在る空き家

いこいの村早期再開について



竹原 祐一

意見が、反映される訳ですね。

経済部長 当初400名近くとおっしゃいましたが、その400名のかたの意見を持って、それが全てではないと思います。

竹原 これだけの人数の方が地域の中で、「いこいの村」について再開を求める人がいる。経済部長、市民の財産という事で、「いこいの村」と捉えるが。

経済部長 市の施設で公共財産とすることで、それが全てです。

吉良経済部長 公園とかと同じ観点で公共施設と言っているのかと思うが、若干違うと思います。

竹原 所有者は、阿蘇市・建物も阿蘇市とう事は公共施設・公の施設に当たるとは思います。

経済部長 そういう意味では、公共の施設だと思います。いこいの村そのものは、条例そのものがありますので、今の発言は、訂正させていただきます。

竹原 市の財産であれば、市民の



休館中の阿蘇いこいの村

観光対策(滞在型観光推進)について



森元 秀一

森元 来訪者の利便性向上について(美観の維持・JR駅トイレの改修) 答弁を

市原観光課長 景観の維持は重要な項目なのでしっかり対応して参ります。「おもてなし」の面で、トイレ整備は非常に重要であると思っております。J R豊肥線整備促進の要望書をまとめ、近日中に提出し、関係機関と連携を取りながら、早期対応できるように取り組んで参ります。

森元 外国人受け入れ環境整備促進について、今後の市の取り組みは。(観光案内の多言語表記、WiFi環境整備)

観光課長 多言語表記は未整備の部分も多いので、インバウンド対策を踏まえ、インフラあたりも随時看板の更新に合わせ対応して参ります。また、観光パンフレット等に関しまして、利用者の声を聴きながら、改善するところは改善し、今後も取り組んで参ります。WiFi環

境箇所は、現在市内142箇所ですが、今回、国の地方創生に伴います加速化交付の内示をいただいておりますので、そういった資金を活用しながら、重要な施策としてさらに取り組んでいきます。

森元 滞在型観光の推進には、広域観光周遊ルート作成が大事、今後の市の取り組みは。

観光課長 これからの課題として重要な課題と認識しております。市としても今回の交付金の活用で、昨年、議員から提案があったサイクリングツーリズムの推進として、やまなみロードを九州の自転車の聖地としてプランを考えています。今後の観光については、滞在型を進めるにあたり、今までと違った、広域観光メニューが必要となり、魅力あるパンフレットを製作して、情報を的確に発信することが非常に大切かと思っておりますので、しっかりと広域の取り組みを推進して参ります。

他に「引きこもり」社会復帰支援対策、「こども相対的貧窮対策」、「児童虐待対策について」の質問がありました。

内牧小学校スクールゾーンの危険箇所について



菅 敏 徳

菅 阿蘇中学校前の信号機設置

について、早めの設置が出来ないか。
園田教育部長 新年度体制に向けて、今後、市長をはじめ教育長、担当部局におきまして、早急な設置に向け、要望活動を進めます。

菅 県道149号線の南側歩道の設置について、商業用道路として交通量が多く、歩道が整備されると、子どもたちはスパーみやはら前の信号

菅 て安全に登校できるのでは。
阿部建設課長 市道内牧千丁線を計画していく際に、県道149号との交差点協議が必要となります。協議の中で横断歩道や歩道の設置ができないか、早いうちに県に対して要望を行って参ります。

菅 温泉病院から番出住宅を結ぶ道路と用水路について、この通学路の幅員が4m弱と狭く田植え時期の4月から用水堰を高め、水位が上昇し、小学生の低学年では背が立たない、地域の生活道路として非常に

車も多くスムーズに離合できないような状況だが改善策は。

建設課長 危険な場所や、幅員が狭い箇所の改善については、通学路の安全パトロールや、学校関係者の意見、地元区長からの要望、住民の方のご意見も参考にし、今後、検討して参りたいと思います。

菅 歩道と中央線が無い市道の速度制限設置について、市単独でスピード制限、あるいは警察との協議による制限や、看板の掲示等出来ないか。
高木総務課長 市単独で市道のスピード制限は不可能ですが、注意喚起の看板を設置することは可能です。どのポイントに看板を設置した方がより効果的なのか地元区長さんと協議し対応を進めます。

菅 内牧交番地域安全連絡協議会の中で小学校の通学路の安全対策について、どのような議論がなされたのか。
橋本内牧支所長 阿蘇中学校前の横断歩道での事故から間もない時期であったことから、登下校時の交通事故防止策について、信号機設置やスクールゾーンの指定など通学路の安全確保に向けた論議がなされ、登下校時間帯のパトロール強化について、関係機関の意思統一を図られました。

菅 交通事故防止対策を地域全体で見守るような体制づくりをお願いします。

議会の傍聴について

本会議は、個人でも団体でも傍聴することができます。

議会での議員の質問や市長の考え方などを直接見聞きすることができますのでお気軽においで下さい。手続きは、傍聴席入り口で名前と住所などを書いていただくと結構です。

また、傍聴席には限りがありますので、団体で傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局へご相談ください。

なお、傍聴席では、会議を妨害したり、議長の許可なく写真撮影や録音などをすることはできません。また、飲食物の持ち込みもできませんのでご了承下さい。

